

新しい情報保障ガイドラインへの課題確認記入票

※同じ趣旨であれば他の手段で作成いただいても構いません。

8月10日までに障害福祉課霜崎あてにお送りください。

◆お名前： _____

◆関連する障害分野・支援の場面など（例：視覚障害・就労支援・障害者雇用など）

チェック 1 配慮が必要な事項とガイドラインの記述について

（A）現在、配慮があまり実行されていない事項で、ガイドラインへの追記や書き直し、記述の強化が必要な分野があればお答えください。

（B）現在、配慮は実行されるようになってきているものの、取組を後退させないため、ガイドラインの記述に際して特に留意が必要な分野があればお答えください。

チェック2 ガイドラインに盛りこまれていない新しい情報について

(A) 御自身が接している、あるいは見聞きされている、新しい支援や配慮のための技術や取組の情報があればお答えください。

(例:スマートフォンを使った新たな情報提供、職場でのコミュニケーション支援など)

(B) 支援の必要性が新たに認識されるようになるなど、世の中の考え方に変化が生じていると思われる分野があればお答えください。

(例:災害時での避難所の知的・発達障害の人の過ごし方など)

チェック3 ガイドラインが「使われる」ようにするために

(A) 配慮の必要性の説明や、具体的な配慮方法の提示で、現在のガイドラインに不足していると思われることがあればお答えください。